

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	保健センター施設管理事業						担当部	健康福祉部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	保健センター			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	予防係		
	総合計画 分野別計画	主目的	2 保健・福祉		6 健康づくり		1 心と体の健康づくりへの取組みを支援します				
		副目的									
	予算区分	款	4	項	1	目	1	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	4か月・1歳6か月・3歳児健診、歯科健診、BCG、がん検診、各種相談・教室等において市民が安全快適に保健センターを利用できるようにする。									
	内容 (手段)	<p>◆平成25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センターは、昭和63年4月に建設され、その建物を安全に維持管理するために、エレベーター、自動ドア、空調等機械の保守点検を実施した。</li> <li>・保健センターの清掃、害虫駆除、消毒等施設の衛生管理を実施した。</li> </ul> <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>光熱水費・修繕料等(4,917千円)</li> <li>管理委託料(8,334千円)</li> <li>清掃道具等使用料(297千円)</li> <li>備品購入費(1,128千円)</li> </ul> <p>○平成26年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センターのエレベーター、自動ドア、空調等機械の保守点検については、平成25年度と同様に実施する。</li> <li>・保健センターの清掃、害虫駆除、消毒等施設の衛生管理については、平成25年度と同様に実施する。</li> </ul> <p>◆26年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>光熱水費・修繕料等(6,221千円)</li> <li>管理委託料(9,162千円)</li> <li>清掃道具等使用料(358千円)</li> </ul>									
	受益者負担										

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	14,601	11,765	14,676	15,741	
		正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	2,630	2,630	2,630	2,630
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	17,231	14,395	17,306	18,371
	対前年比		%		83.5	120.2	106.1	
財源	一般財源	千円	17,231	14,395	17,306	18,371		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	保守管理委託件数	件	目標	9	9	9	9
			実績	9	9	9	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
事故発生件数	%	目標	0	0	0	0	
		実績	0	0	0		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	4か月・1歳6か月・3歳児健診、歯科健診、BCG、がん検診、各種相談・教室等において、市民が安全快適に保健センターを利用することができた。			
		事業実施における課題	保健センターは、昭和63年に建設され、施設、機械設備が老朽化してきており、大きな不具合が発生する恐れがある。			
		事業を縮小・廃止したときの影響	エレベーター、自動ドア、空調機器等の不具合を見過ごすこととなり、重大な事故等が発生することとなる。			
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	昭和63年に開所して25年が経過し、施設、機械設備ともに老朽化してきており、今後より一層安全快適に施設を利用するため、将来的に点検箇所や回数等の充実を図る必要があると考える。			
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)		
	判定理由	昭和63年に開所し、施設、機械設備ともに老朽化してきており、今後より一層安全快適に施設を利用するため、将来的に点検箇所や回数等の充実を図る必要があると考える。				
	27年度以降の改善案	定期点検を確実に実施する。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。